

参考資料

## 令和3年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
危機管理防災部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総額

### 【一般会計】

区分	令和3年度	令和2年度	伸び率
予算総額	3,052,078千円	5,065,021千円	△39.7%
一般会計構成比	0.2%	0.3%	—

### 【埼玉県災害救助事業特別会計】

予算総額	706,866千円	791,568千円	△10.7%
------	-----------	-----------	--------

## II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

### 1 危機や災害に備える

P 1	一部新規 災害対応力の強化【危機管理課】	22,461
P 2	新規 避難所情報の発信強化【災害対策課】	5,060
P 3	東京2020オリンピック・パラリンピック消防・救急体制の整備 【消防課】	85,363
P 4	若者を中心とした消防団への加入促進【消防課】	1,899
P 5	減災に向けた自助と共助の促進【危機管理課】	20,274

## 災害対応力の強化

担当 危機管理課 危機管理担当  
内線 8132

### 1 目的

危機や災害ごとに対処すべき具体的なシナリオを作成し、図上訓練を繰り返しながら、専門的な知識や能力を有する様々な官民の機関を強固に連結させることにより、県の災害対応力を強化する。

### 2 事業内容

#### (1) シナリオの充実（予算額 16,063千円）

令和2年度にシナリオの対象とした風水害に加え、地震や感染症などにも範囲を拡大し、より幅広く災害や危機に備える。



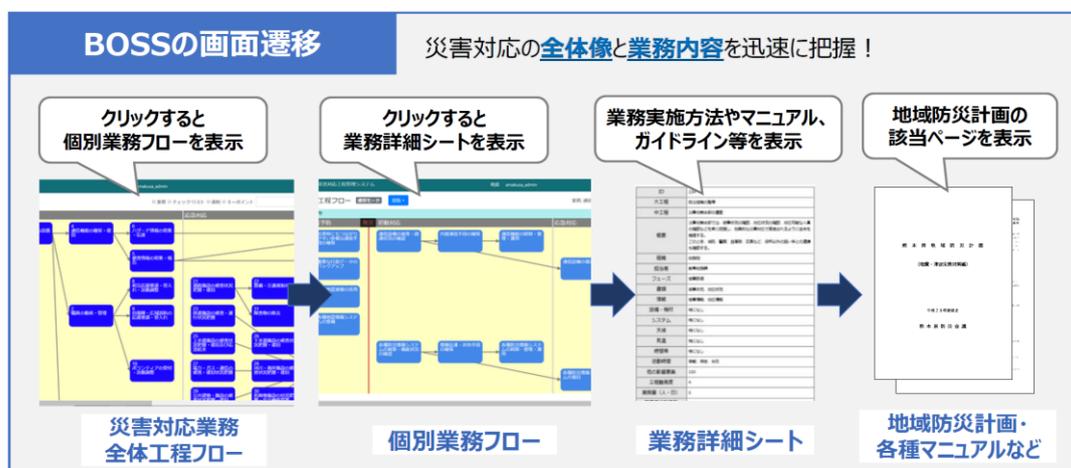
シナリオに基づく図上訓練



シナリオ修正サイクル

#### (2) シナリオの見える化（新規）（予算額 6,398千円）

災害対応工程管理システム（BOSS）を導入し、シナリオを電子化することで、関係機関のシナリオの共有化を進めるとともに、災害対応の抜け・漏れの防止を図る。



災害対応工程管理システムの画面遷移

### 3 令和3年度予算額 22,461千円

## 避難所情報の発信強化

担当 災害対策課 災害対策担当  
内線 8181

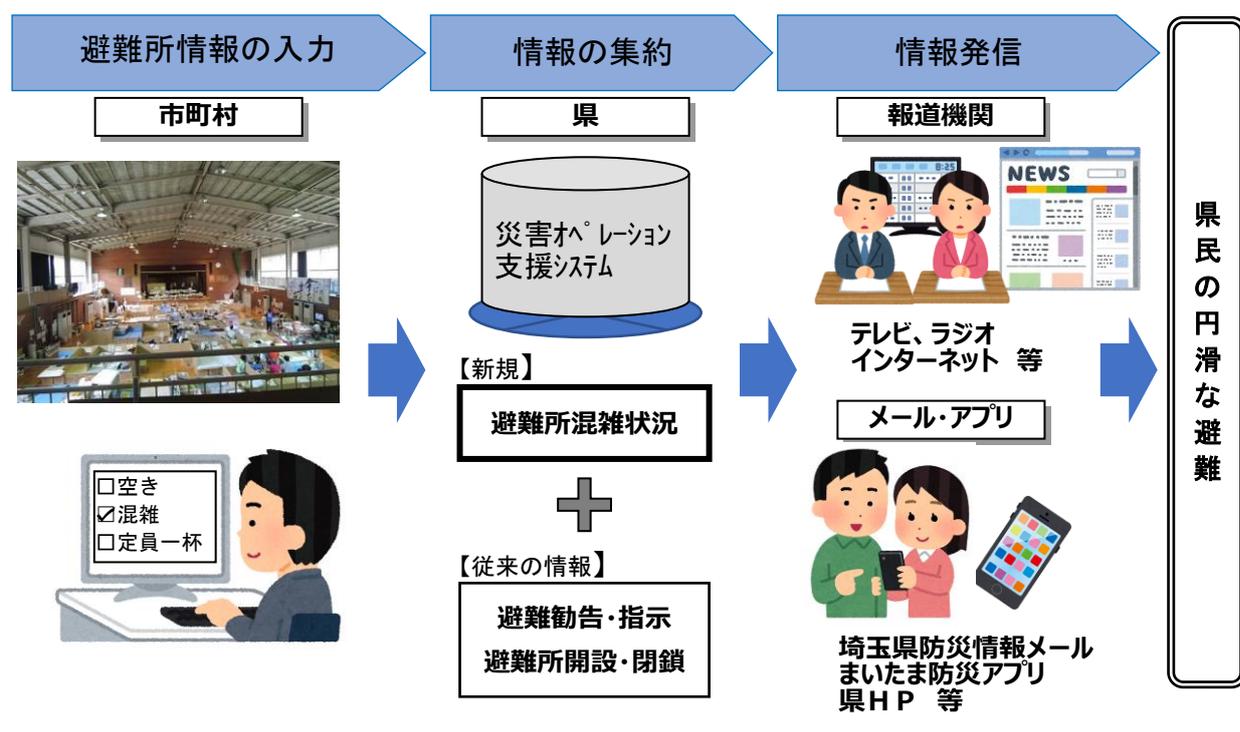
### 1 目 的

避難所における新型コロナウイルス感染症対策を強化するため、避難所の開設、閉鎖情報に加え、混雑状況についても発信し、特定の避難所への避難者の集中を防ぐとともに、円滑な避難を支援する。

### 2 事業内容

市町村が入力した避難所の混雑状況を報道機関やメール、アプリ等により県民に発信できるよう、災害オペレーション支援システムを改修する。

<イメージ図>



3 令和3年度予算額 5,060千円

# 東京2020オリンピック・パラリンピック消防・救急体制の整備

担当 消防課 消防広域担当  
内線 8173

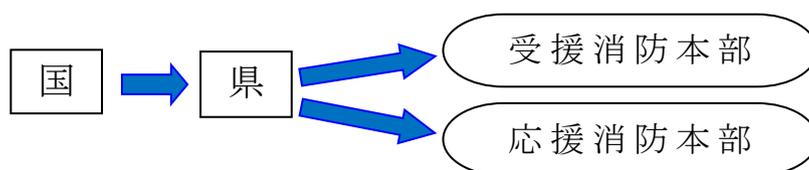
## 1 目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に万全を期すため、県内消防本部における新型コロナウイルス感染防止の充実強化を図る。

## 2 事業内容

県内消防本部を対象に、感染防止資機材の購入費用や応援部隊の活動に要する経費を補助する。

### (1) 事業スキーム (国庫10/10)



### (2) 補助対象

#### ア 感染防止資機材購入費用

N95マスク、ゴーグル、感染防護衣など



N95 マスク



ゴーグル



感染防護衣

#### イ 応援部隊の活動に要する経費

車両の燃料費、隊員の時間外手当、旅費など

## 3 令和3年度予算額 85,363千円

# 若者を中心とした消防団への加入促進

担当 消防課 消防・調整担当  
内線 8153

## 1 目的

将来にわたって地域防災の担い手を確保するため、若者（特に大学生）を対象に消防団への加入促進PRを展開する。また、「消防団応援の店」の拡充など地域全体で消防団を応援する気運を醸成する。

## 2 事業概要

### (1) 広報強化活動（予算額 1,572千円）

大学祭や地域のイベント等に参加し、消防団の活動についての啓発を行うほか、大学の就職課及び地域連携担当課と連携し、学生の消防団活動への理解を深め、加入を促進する。

また、学生消防団員等の活動を活性化するための研修会（救急救命講習やHUG訓練等と合わせて実施）を開催し、県内市町村相互の消防団の交流を図り、団員のスキルアップと連帯感を醸成する。



学園祭で救命講習を行う学生団員



研修会（HUG訓練）

### (2) 消防団応援プロジェクト事業（予算額 327千円）

地域で消防団活動を支援する「消防団応援の店」の拡充を図る。



応援の店 店頭表示ステッカー

## 3 令和3年度予算額 1,899千円

# 減災に向けた自助と共助の促進

担当 危機管理課 震災予防担当  
内線 8148

## 1 目的

首都直下地震等の大規模災害に備え、県民の自助・共助の取組を促進し、災害発生時の被害軽減を図る。

## 2 事業内容

### (1) イツモ防災事業（予算額 7,980千円）

防災講座、ワークショップ、啓発冊子の配布などにより、家具固定や水・食料の備蓄など自助の取組の一層の普及を図る。また、地域で防災を担う人材の育成を進める。



イツモ防災ワークショップ

### (2) 自主防災組織育成事業

（予算額 11,533千円）

防災資機材整備に対する助成や研修・訓練への講師派遣などを行い、自主防災組織の設立や活性化に取り組む市町村を支援する。

また、県内の地区防災計画策定を促進するためにモデル地区を選定し、その取組成果を県全体に広げていく。



リーダー養成研修

### (3) 災害ボランティア団体支援事業

（予算額 761千円）

県内の災害ボランティア団体が災害時対応等について話し合う場を提供し、ネットワーク活動を支援する。



## 3 令和3年度予算額 20,274千円